

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 のぼり藤 リハこどもデイ ライラック			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数)	29名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 4 月 28 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い空間や個室や別室（パソコンルーム）を活かした療育を行っている。	年齢層が様々なため、部屋を分けたり集団で出来るゲームなどの活動内容を取り入れたり、専門的な分野（パソコンプログラミング）などを取り入れたりして過ごしてもらっている。	パソコンは、月に数回専門的に教える機会を作ったり、現在流行している遊びなどを取り入れていく。
2	地域の活動を活かしたイベントを企画している。	市内の公園や図書館、博物館や体験施設へ外出するイベントを企画したりしている。	地域の方々などの協力や情報をいただいたりして、利用児さんが地域の方々と交流できるイベントを企画したり、同所内に高齢者デイがあるので世代間交流の機会なども取り組んでいる。
3	年齢層が小学生から高校生までいてるので、年下への思いやり、年上への尊敬や憧れが芽生える。	それぞれの活動や思いを尊重しながら、上手に関われるよう、配慮している。	色々な年齢の児童が関わる中で、年上への関わり、年上への関わりを多く持つことで、社会性と対人関係を育んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢層が様々で、療育を取り組む時間や内容の分け方が難しい。	高学年の利用児さんや、中高生の利用児さんの来所時間の関係から集団療育を取り組み、個別療育が出来ない場合があります。休日やイベントを利用して補う事が出来ればと思う。	営業時間の改善の検討や療育内容などの見直しなどを職員同士で考えたり、研修などに参加して対策を考えていけたらと思う。
2	事故対応・災害対応等の緊急時の対応マニュアルは整っており、避難訓練や防災センター等の施設を利用した体験等も行っているが、保護者の方や外部の方に情報が伝わりにくい状況となっている。	保護者の方へ必要な情報発信を行っていく必要がある。	送迎時等で説明させて頂いたり、SNSをしっかりと活用して情報発信する検討を行う。
3	保護者交流会などの機会が少ない。	大きな親子野外活動イベントが年に一度開催している。	大きなイベントだけでなく、気軽に参加できるイベントなども検討していきたい。